

2024年度年末手当に関する申し入れ

バス 関東本部 会社回答を受けるも持ち帰り議論!

11月20日、バス関東本部は「2024年度年末手当に関する申し入れ」について回答を受けました。

バス関東会社では、第2四半期決算で1億2000万円の営業利益を計上しました。組合員・社員の努力の積み重ねが大きく、労働実感はこれまでに高く高まっています。しかし会社は、燃料油価格激変緩和補助金等の外的要因によって営業利益を計上できたことを強調するなど、経営環境は依然厳しいとし、計2.45ヶ月の回答を示しました。労働実感とかけ離れた回答に到底納得できず、席上妥結せずに回答を持ち帰りました。

バス関東本部として「年末手当回答に対する緊急アンケート」を実施しています。職場・分会の意見を踏まえながら、組織内で議論を行っていきます。

会社から示された回答

【バス社員】 基準内賃金の2.4ヶ月+さらにこれまで社員一人ひとりが取り組んできた構造改革の進展と成果、物価上昇等の社会情勢の変化に伴う社員の皆さんの生活実感を踏まえ、特に0.05ヶ月を加算した、合計月額2.45ヶ月

【エルダー社員】 基本給及び扶養手当それぞれの月額を1.85倍した額

【契約社員A】 基本給及び都市手当ならびに扶養手当それぞれの月額を1.85倍した額

【契約社員B及び臨時雇用員】 継続雇用期間及び稼働実績に基づき、個別に定めた額

支給日

12月3日以降、準備でき次第



バス 東北本部 会社回答を受けるも持ち帰り議論!

11月19日、バス東北本部は「2024年度年末手当に関する申し入れ」についてバス東北会社より回答を受けました。これまでの交渉において会社側からは、対前年比「増収減益」で予算を許さない経営環境であることが説明されていたのに対し、私たちは先の見えない要員不足の中で奮闘している「労働実感」や「人材流出の危機感」などを訴え鋭意議論してきました。

この回答は、年末手当の支給率としては過去最高であるものの、各職場から期待して寄せられた声と乖離していることから、席上妥結せず回答を持ち帰りました。今後、組織内で議論を行います。

会社から示された回答

【バス・エルダー社員】

基準内賃金×2.5ヶ月+2万円

【契約社員】

基本日額×23日×2.10倍+2万円

支給日

12月3日以降、準備でき次第



ステーションサービス協議会 悔しくも妥結!

基本給月額

2.7ヶ月

平均支給額は過去最高の回答を引き出す!

支給日 12月2日(予定)

11月14日、第2回団体交渉にて会社から回答を受け、基本給月額の2.70ヶ月という過去最高の平均支給額の回答を引き出すことができました。しかし、昨年と同等の支給月数であることや、夏季手当と比較しても0.1ヶ月しか上回っていないこと、私たちの要求月数とかけ離れた回答であり納得感がないことから、その場では妥結の判断をせず、回答を持ち帰り、組織内で議論を行いました。

組合員・社員の労働実感、生活実感から乖離した回答であり、悔しさを感じますが、アンケートで出された多くの意見を会社に訴えることができました。今までの協議会としてのたかひの結果、過去最高の平均支給額の会社回答を引き出した成果とこれからの課題を確認し、妥結の判断をしました。アンケートに回答いただいた皆さん、ありがとうございました!



釣り部 第33回釣り大会

10月30〜31日、神奈川県平塚において「第33回釣り大会」を大宮地本主管のもと開催しました。1日目は釣り部総会を行い、本部・助川副委員長から情勢について特別講演を受けました。その後は懇親会を開催し、大いに交流しました。2日目は、海船釣りとトラウトルーアー釣りに分かれて競技を行いました。海釣りは前日の雨の影響



もありましたが、初心者の参加もあり、皆で教え合いながら楽しくイナダ、カンパチ、サバ、アジなど釣果を得ることができました。トラウトルーアー釣りはプロからのレクチャーもあり、皆で楽しむことができました。表彰式では、本部からの表彰、各メーカー、お店から協賛品などを提供いただき、皆で和気あいあいと終えることができました。

釣り部は、各地方のオススメ釣り場などを考え、皆で楽しめるよう企画をしています。初心者も大歓迎です。釣り部から組織強化・拡大をめざします。

ソフトボール部 第26回ソフトボール大会

11月7〜8日、仙台地本主管のもと、バス東北の仲間にも協力をいただき「第26回ソフトボール大会」を福島市・十六沼公園スポーツ広場にて開催しました。



初日の開会式では本部の重久中央執行委員から講演を受け、年末手当の情勢の認識一致を図りました。初日は雨のため屋内にてキックベースをし、全体交流会を行いました。2日目は、天候が回復し交流戦を行い、熱く楽しい試合が繰り広げられました。

昨年の再建大会からの継続開催で、6地本から60名を超える仲間が結集し笑顔溢れる楽しい大会となりました。

写真部 第29回撮影会

11月11〜12日、「第29回撮影会」を開催し、23名で秋の茨城・常盤路を撮影しました。



初日の講演会では、本部の重久中執から年末手当交渉を中心とした情勢を、野中サークル協議会副議長から八王子での不当処分に対するたたかひを報告いただき、激色紙を手渡しました。

2日目は「ひたひたなか海浜鉄道」を訪れ、思い思いの場所で列車を撮影しました。那珂湊駅では車庫に佇む車両が見られるほか、阿字ヶ浦駅には廃車体を御神体とした神社など面白い取り組みがあります。さらに、国営ひたち海浜公園へのアクセス向上として鉄道の延伸が検討されています。赤字だからと安易に廃線するのはなく、通勤・観光の足を守り、地域

に親しまれる鉄道とはどのようなかを学びました。茨城には、他にも鹿島臨海鉄道や関東鉄道といった地域密着の鉄道が多く、ローカル線問題と向き合う上で学ぶ点があります。写真部は楽しく写真を撮りながら、働く環境や課題について学ぶサークルです。初心者大歓迎!ぜひ撮影会に参加しませんか?

運輸サービス協議会 第11回定期総会

10月28日、運輸サービス協議会第11回定期総会を開催しました。

JETS協議会は、首都圏の車両センター等での構内入換や車両検修、車両清掃等が出向している仲間が構成しています。総会では5名の委員から、JETS会社の経営姿勢や、清掃社員の過酷な労働条件、プロパー社員と共に職



場の検証を拒んだこと等が発言されました。その後の総括答弁では、S57採用者のエルダー社員が一区切りとなることから、今後の協議会のあり方を一年かけて議論することが提起されました。また、懇親会も盛り上がり、組織や仲間を実感できる総会でした。今後もグループ会社にJR東労組の旗を立て、「安全・健康・ゆとり」を実現できる職場をめざすため、奮闘していきます。

新役員体制 (敬称略)		
議長	小澤 教久	大船事業所
副議長	金子 敏和	豊田事業所
事務長	小田切 高 人	小山事業所
幹事	柳澤 嘉也	田町事業所
幹事	山本 康生	国府津事業所
幹事	三角 一典	小山事業所 宇都宮派出